

授業科目                      介護実習

【担当教員名】 松井奈美	対象学年	2 3	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	前期(社)・後期	必修・選択	選択・選択・選択・選択・必修
	単位数	1	時間数	30

<概要>

要介護者の心身の変化に対する観察能力を身につけるとともに、それらの変化に的確に対処するために必要な基本的な介護技術を習得する

<学習目標>

1. 介護を必要とする人の気持ちを理解する。
2. 介護実践におけるコミュニケーションのあり方を学ぶ。
3. 残存機能を活かした介護技術を習得する。
4. 日常生活支援に必要な介護技術の基本を習得する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO
		番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	トランスファー(移動・移乗介護)の基本を学ぶ。	講義
2	端座位・側臥位への介助技法及び車椅子介助・歩行介助・ガイドヘルプの技法を身につける。	実習
3	褥瘡予防・感染予防に必要な介護知識を習得し介護における日常生活環境の整備方法を学ぶ。	講義
4	リネン交換・更衣介助の技法を習得する。	実習
5	身体状況に対応した排泄介助のあり方を学ぶとともに排泄介護の基本技法を学ぶ。	講義
6	ポータブル排泄介助・布おむつ、紙おむつ交換の技法を習得する。	実習
7	入浴介助の意義と方法の知識を学ぶとともに障害別の介助技法を習得する。	講義
8	足浴・手浴・ドライシャンプー・爪きり・ひげそり・洗面の技法を習得する。	実習
9	身体状況に応じた食事形態及び食事介助のあり方を学ぶ。	講義
10	座位及び仰臥位における一部介助・全介助での食事介助の技法と口腔ケアの技法を習得する。	実習
11	緊急時の職種間連携の必要性と緊急時対応に必要な知識を習得する。	講義
12	心肺蘇生・止血・ハイムリック法・包帯法・昏睡体位のとり方・吸引器の使用法等を学習する。	実習
13	要介護者の介護計画の立案方法及び社会資源の把握と活用、職種間連携の方法を学ぶ。	講義
14	要介護者の介護計画に必要なアセスメント項目を考察し介護計画立案のためのカンファレンスを行う。	実習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	『知っておきたい介護技術の基本』、 岩橋成子(著)、 誠信書房、 2001年発行、 2,000円			
参考書	随時紹介			
その他の資料	必要に応じて配布			

【評価方法】 出席状況・小レポート(ほぼ毎回実施)・授業態度 試験またはレポートから総合的に評価する。	【履修上の留意点】 *動きやすい服装で出席すること。積極的・協調的なグループ実習を行うこと。 *講義と実習が1セットの2時限連続授業である。(7回授業) *教科書で予習を行ったうえで授業に臨むこと。
---	--

全科共通科目  
医療福祉